

へり基地反対協ニュースを創刊！！

～共同代表あいさつ～

へり基地反対協議会が結成されたのは、1997年12月21日に「基地建設の是非を問う名護市民投票」が実施される直前の10月17日でした。反対協が中心となって推進した基地建設反対のうねりは市内のみならず県内外に大きなうねりとなって広がりました。沖縄では初めてとなる基地建設を問う市民（住民）投票は歴史的勝利をおさめ、基地建設反対の民意が確立されました。

市民投票は、米軍基地建設の是非を問うがゆえに建設を強行する政府との闘いの構図を余儀なくされました。したがって、この事は軍事基地と

の共存を拒否し、自然環境と共生する豊かなまちづくりの在り方を示す意思表示でもありました。あの時からすでに26年の歳月が流れました。しかし、いまだに民意は実現されていません。それを阻害しているのは日本政府に他なりません。岸田内閣は名護市民の民意と、新基地建設に反対



市民投票勝利「バンザイ」の聲がはじけた
1997.12.21夜 へり基地反対協事務所
（『市民投票報告集：名護市民燃ゆ』より）

ニュースの発刊にあたって

今回の「ニュース」を発行するにあたり、私たち反対協も県民の平和への思いを一身に背負って奮闘するデニー知事を支え、岸田内閣の暴挙を跳ね返し、新基地建設を止める住民運動に邁進していくことを改めて表明いたします。へり基地反対協議会
共同代表 仲村善幸

へり基地反対協ニュース

～辺野古の海から～

ゲート前座り込み・活動参加の案内

ゲート前座り込み：予約不要

平日 9時 12時 15時
レンタカーでは久志駐車場（HP参照）
バスでは「沖縄高専入口」下車

安和の行動：予約不要

平日・土曜日 7時～20時ごろ
名護市安和琉球セメント前

塩川の行動：予約不要

平日・土曜日 7時～17時
本部町塩川 塩川港

海上行動・カヌーチーム

○海上行動に参加(船に乗船)されたい方
⇒乗船予定日をメールで予約
○カヌーで参加したい方(カヌー教室へ)
⇒毎週日曜9時～12時ごろ
参加の際にはメールで予約
予約・問い合わせ :090-1865-8536(キム)

浜テント：団体参加は要予約

平日・土曜日 8時～12時ごろ
団体で来訪される場合はメール予約
⇒へり基地反対協：herikiti@mco.ne.jp

へり基地反対協が取り組む 住民の訴訟について

①国の「違法」を許さない住民の訴訟

辺野古・大浦湾周辺に居住する住民16人が、国に対し、沖縄県の「埋立承認撤回」を取り消した国土交通大臣の裁決（2019年4月5日付）は違法だとして、その取り消しを求めた裁判です。2020年3月19日、「撤回の執行停止」に関する決定が下され、当時の裁判長は原告のうち4人の原告適格を認め（12人については却下）、4人を原告として本論（撤回の取り消し）に関する弁論が再開されました。2021年4月、那覇地裁の人事異動により裁判長が交替。2022年4月26日、新裁判長は（前裁判長が認めた）4人の原告適格を認めない「門前払い」の不当判決を下しました。原告団・弁護団は判決を不服として同年5月6日、福岡高等裁判所那覇支部へ控訴。現在、高裁にて継続中です。

②知事の「不承認」を支持する住民の抗告訴訟

2022年8月23日、辺野古・大浦湾沿岸住民ほか20人が原告となって国に対する新たな訴訟を提訴しました。2021年11月25日の玉城デニー知事による「設計変更不承認」を取り消した国交大臣の裁決は違法だとして、その裁決の取り消しを求める訴訟です。沖縄県も同様の訴訟を国に対して起こしましたが、8月24日、最高裁は門前払いの不当判決。私人（国民）の権利を救済するための行政不服審査法を国の機関が使ったことが合法か違法か、という中身については全く審理しなかったのです。住民の訴訟は、中身の審理をするよう裁判所に求めて継続中。現在までに5回の口頭弁論が行われ、第6回が来年1月23日（火）午後2時半に予定されています。

<詳しくは、反対協HPの「住民の訴訟」頁をご覧ください>

ホームページが新しくなりました。

編集後記：吉居俊平

へり基地反対協の広報を担当しています。やっと初めてのニュースを発行できました。今後は季刊発行を予定しておりますので、お楽しみに！そして今後もよろしくお願いいたします。



URL : <https://lovehenoko.org>



ありがとうございました

たたかひの原点・浜テント

へり基地反対協が運営する「辺野古浜テント」は、2004年4月19日、辺野古新基地建設（当時はリーフ上埋め立て案）に向けた海底ボーリング調査を阻止するため辺野古漁港隣にテントを張り、座り込みと海上行動を開始したのが始まりです。それは、1997年以来の辺野古・命を守る会の8年間にわたるたたかひを引き継ぐものでもありません。



今年6月18日には開始から7000日を迎え、テント前の干潟で、これまでの二十年近い年月とともに頑張ってきた人々を迎えて集会を行い、新基地阻止の決意を新たにしました。

浜テントは、昨年までコロナ感染拡大防止のための断続的な休止期間を経て、現在は、月曜と土曜日（日・祝日は休み）の毎日午前8時～12時、へり基地反対協の加盟団体が交替で

当番し、辺野古を訪れる人々への対応・説明や情報提供、無線による海上行動との連絡・情報共有を行っています。

最近では、個人だけでなく修学旅行や団体訪問も増えつつあり、当番のいない午後や休日の訪問は、前もってファックスやメールで受け付け、対応しています。辺野古のたたかひの原点ともいえる浜テントの活動に、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

浜テント担当・浦島悦子

非暴力の抗議運動

塩川・安和行动

辺野古の海の埋め立てが強行され、間もなく5年になる。投入された土砂の量は全体の約14%にすぎない。このペースだと、あと20年以上かかることになる。

山から削られた土砂はダンプで安和棧橋と塩川港に運ばれ、運搬船に積み替えられ辺野古へ運ばれる。1日の延べ台数は、2ヶ所の合計で抗議者が少ないと約2000台だったが、地道な抗議行動の成果で、1300～1400台に抑えてきた。辺野古部分の埋め立てが終わり、大浦湾側の違法な仮置きを控え、最近では約1000～1200台に減らしている。

私たちの先輩は、新たな基地建設を、非暴力の精神と直接行動で断念をさせた。その精神は今も引き継がれている。ダンプが止



まると、運転手に一礼し抗議者はゆっくり歩き始める。急な飛び出しや危険な行為はしない。ダンプの運転手は、1日何往復というノルマではなく時間勤務のためか、無理な運転をする運転手は多くはない。ある女性の抗議者は、写真のような手作りの風船を作った。当初は文句を言っていた運転手も、埋め立てを遅らせたいという私たちの気持ちを持ち、次第に理解してくるようになった。

1時間でもOK！牛歩で違法な土砂搬出に抗議をしよう。

西浦昭英（名護）

浜テントへの団体訪問予約・問い合わせ：herikiti@mco.ne.jp

浜テント・塩川安和行动活動報告

ゲート前行動・海上行動活動報告

コロナを超えて決意新たにゲート前行動

辺野古のゲート前テント前座り込みは10月7日で3878日を迎えた。「オール沖縄会議」はコロナや台風で開催できなかった県民大行動を、半年ぶりに開催した。1000人近い県民が集まった。みんなワジワジしている（怒りで沸騰している）。

それは玉城知事が「国の埋立設計変更」を認めない裁判で、最高裁が沖縄県敗訴の判決を下し、知事に「埋立容認」を迫り、知事が「容認しない」ことを明確にすると、十月五日即座に、国交大臣が代執行の訴訟を起こしたからだ。どこまで県民の民意を踏みにじり、国と対等の地方自治の原則を無視するのか。

参加者は、「知事は自然を守る事が公益につながる」と主張し筋を通した。信頼できる人の下で県民は運動している。理論的に負けず、国際社会にも主



張が通っていくだろう」（琉大徳田教授）の励ましに深くうなずき、民意を守る玉城知事をさらに大きく支えることを決意した。

ゲート前テントは、オール沖縄に集結する多団体で組織されており、曜日ごとに責任をもって運営されている。テントの保持、設営は名護市のへり基地反対協が主に責任をもっている。それが十年以上も続いているということは本当にすごいことだと思ふ。

沖繩の会 芳沢あきこ

辺野古の海より吠える

海上抗議行動

新基地建設のための土砂投入は2018年12月14日に辺野古側に投入された。その前年の4月25日K9で護岸工事が行われた。もう6年余りになる。当初の計画によると新基地はすでに完成しているはずだ。

今、沖縄では、キャンプシュワブゲート前の座り込みはじめ、塩川、安和の工事現場と辺野古埋め立ての海現場で、闘いが繰り広げられている。海での闘いの主人公へり基地反対協海上メンバーだ。眠い目をこすりながら、大浦湾での土砂搬入に命がけの闘いをしてる。

大浦湾側は波の荒い日が多く、海上行動も大変だ。カヌーと抗議船でペアを組みながら抗議行動をすすめる。ゲート前には規制のために機動隊がでてくるが、海には海上保安庁が規制に入る。海をまもる海上保安



庁が海の破壊に手を貸す。馬鹿なことがおきている。ウソとでたらめなことをしているのは日本政府だ。いつも言っていること、辺野古唯一。沖縄県民の負担軽減。ウソも100回言うとも真実になるとヒットラー関係者が言ったが、今沖縄で行われていることは戦争の前夜のような。いつか来た道繰り返さないために私たちには闘う。蟻螂之斧のようだが、勝つことあきらめないこと胸に刻みながらがんばる。

事務局長 仲本興真

抗議船の乗船・カヌーチームへの参加・問い合わせ：henokoblue@outlook.jp